

世界が認める **MADE IN JAPAN**

ナノシャインでキャンピングカーをコーティング

クルマはもちろん、鉄道車両や船舶などにも施工可能。
水と天然鉱石を使ってボディを保護する日本生まれの『ナノシャイン』で、
キャンピングカーをコーティングする現場取材した。



ナノシャイン施工の前に、水洗い、オリジナル特殊洗剤で鉄粉を落とし、キャビン部分はポリッシュも実施。最後にシャンプー洗車を行う。ホイールは専用シャンプーを使用。



ナノシャインはキャビンはもちろん、カッティングシートやラッピングが貼られた樹脂製のキャンパーシェルも施工可能。生成装置に内蔵の複合体セラミック（ SiO_2 =二酸化ケイ素・ガラス成分）により、高品質なガラスコーティングが実現する。

今 回施工するキャブコンは、キャビンが鉄板に塗装、キャンパーシェルの外装は樹脂製。さらにグラフィックにはカッティングシートやラッピングが使われており、背も高いことからカーケアも一筋縄ではいかない。「カーケアやコーティングが難しいキャンピングカーの架装部分もナノシャインならコーティング可能です。外装が樹脂でできているヨットやクルーザー、デカールやラッピングが貼られたトラックや鉄道車両への施工実績がその裏付けです。」と言うのは、この技術を開発した（株）システムブレインの代表取締役社長、神田智一さん。「生成装置を通り高純度石英系ガラスの分子がナノレベルで溶け込んだ水を、車体に吹き付けることで、ボディやメッキ部分、カーボンや樹脂パーツ、ヘッドライトやウインドグラス、ホイールなど、車体全体に強力なガラス皮膜を形成することができます。ナノシャインで新車はその輝き

を維持、長年乗られた車両も新車のような輝きを放ちます。カーコーティングは現在、北海道、秋田、福島、群馬、埼玉、千葉、東京、長野、大阪、福岡、山口、沖縄で実施。「1日で施工、普段のケアは水洗いだけでキレイが長持ち、施工後万一事故に遭った場合、修理後車両保険で再施工可能です。」

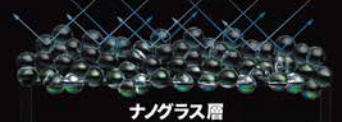
いろいろな素材が使われているキャンピングカーの室内には『ナノメンテSB工法』を活用、木部やレザーシートの経年汚れもサッと綺麗に仕上げる事ができるという。「対象別に複数種類の洗浄剤を開発、使用しています。」これらは多数の国際特許などを取得、JICA事業や世界遺産などを対象に海外進出も果たし、すでに30ヶ国で展開している日本が誇る技術なのだ。

右は「ナノシャイン」の生みの親、(株)システムブレイン代表の神田智一さん。



「ナノシャイン」は親水性で、水をかけても水滴が完全に流れ落ちてしまうから、ウオータースポットがでず塗装を傷めることがない。

ナノシャイン施工後の状態の概念図



規則正しい光の反射で
ボディは自然で美しい輝きを放つ

水道水を独自開発の複合体セラミックに通過させることで、電荷を帯びたシリカ系分子がボディ面の分子間まで浸透、無機質100%のナノメートルレベルの超薄膜のガラス皮膜を形成。このコーティングがボディを保護するとともに、美しい輝きを放つ。



写真上が木材、下がドイツ車のレザーの内装。それぞれ左がナノメンテで洗浄した部分。



車内の各部の汚れを手軽に綺麗にできるナノメンテの洗浄剤。左から、SB55：カビ汚れ用／66：石材・タイル汚れ用／77：木材汚れ用／88：油汚れ用／99：万能型洗浄用がある。

NANO SHINE
ナノシャインについての
詳しい情報はこちら

